

ベルカラー
Bell Collarキヤノン BCI-350/BCI-351 シリーズ対応
IC チップリセッター (USB 駆動式) + インク 6 色セット

取扱説明書 (はじめにお読みください)

製品について

- ・本製品は、詰め替え用のインクカートリッジをお持ちの方、あるいは、純正インクカートリッジへ充填するための詰め替えツールやその方法等を持ち合わせた方向けの商品となっております。
- ・入荷時期により商品の形状やパッケージのデザイン等が変わる場合がございますが、改良による仕様変更になり、商品の品質に影響がございませんので、安心してご使用ください。
- ・本製品のインクは純正インクの印刷色合いと異なる場合がございます。予めご了承ください。

取扱説明書はベルカラー公式サイトからダウンロードできます

<http://www.printer-ink-ca.com/>

※上記 URL にアクセスして、インク・トナー型番又はプリンター型番で該当商品を絞り込み、「取扱説明書をダウンロード」を押してください。右の QR コードからもアクセスできます。

対応インク型番

BCI-350PGBK / BCI-350XLPGBK / BCI-351BK /
BCI-351XLBK / BCI-351C / BCI-351XLC / BCI-351M /
BCI-351XLM / BCI-351Y / BCI-351XLY / BCI-351GY /
BCI-351XLYG / BCI-351XL+350XL/6MP /
BCI-351+350/6MP / BCI-350XLPGBK2P

対応プリンター機種

PIXUS MG7530F / PIXUS MG7530 / PIXUS MG7130 /
PIXUS MG6730 / PIXUS MG6530 / PIXUS MG6330 /
PIXUS iP8730

セット内容

●取扱説明書 2 枚



●インクボトル

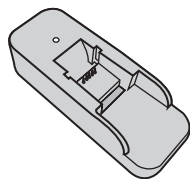
黒 (PGBK、顔料系) 50ml、黒 (BK、染料系)、マゼンタ (M)、シアン (C)、イエロー (Y)、グレイ (GY) 各 30ml



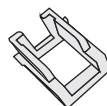
●手袋 2 枚



●IC チップリセッター



●BCI-351 用アダプタ



※黒インクの PGBK (顔料系) と BK (染料系) はインクの質が異なりますので、入れ間違いに注意してください。

使用上の注意と保管について

- ・ご使用前に必ず本取扱説明書を読んで正しく作業を行ってください。
- ・説明内容と違った使い方をすると、印刷不良やプリンターの故障の原因となる恐れがあります。
- ・他社製詰め替えインクと絶対に混合しないでください。印刷不良やプリンターの故障の原因となります。なお、純正インクとの混合は問題ありません。
- ・インクを取り扱う際は、新聞紙を敷き、付属の手袋を着用してください。インクが手に付くと落ちにくいのでご注意ください。
- ・不用意にインクボトルを強く振ったり、逆さまに持ったりしないようにしてください。
- ・皮膚などにインクがついてしまった場合は、時間が経つと落ちにくくなりますので、すぐに石けんや水で洗い流してください。
- ・詰め替える時にインクがこぼれ、周辺が汚れる場合があります。ティッシュペーパー等を予めご用意ください。
- ・IC チップリセッター等にインクが付着した場合は水を含ませたティッシュペーパーで簡単に拭き取ることができます。
- ・IC チップリセッターは「対応インクタンク型番」に記載されたキヤノン純正インクタンクのみを使用いただけます。
- ・IC チップリセッターを使用する時は、USB ケーブル (タイプ A - タイプ B) が必要です。
- ・直射日光の当たる場所を避け、冷暗所に保管してください。
- ・お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ・万一、誤ってインクを飲み込んだ場合は、水を飲ませる。また、目に入った場合は、こすらずに水でよく洗う等の処置をして、すぐ医師の診察を受けてください。
- ・インクは開封後 1 年以内にご使用ください。
- ・開封後はインクボトルのキャップを固く締め、ボトルが倒れないように保管してください。

＜キヤノン BCI-350/351 シリーズ IC チップリセッター + インクセット＞ Q&A・お問合せ

Q&A

Q1. 印刷がかすれる。色が出ない。

A1. 以下のことを順番にお試しください。

①インク補充方法③を参考に純正カートリッジの重さをはかってインクが十分量充填されていることを確認する。

②プリンターの取扱説明書を参考に、ヘッドクリーニングを行う。

※改善が見られるまで何度か繰り返してください。

上記の操作を行っても印刷不良が改善しない場合は、プリントヘッドの不具合や寿命が考えられます。プリンターメーカーへお問い合わせください。

Q2. リセッターを市販の互換カートリッジに使用できますか？

A2. 当商品は純正インクカートリッジの IC チップに対してのみご使用ください。

互換カートリッジのなかにはリセットが可能な商品もございますが、現在、多数のメーカーから多くの種類の互換カートリッジが販売されており、全てに動作保証することは困難です。従いまして、互換カートリッジへの動作保証は致しかねますので、予めご理解の上ご利用いただきますようお願いいたします。

Q3. IC チップリセッターを使用しても、インクタンクのインクランプが点灯しない。

A3. 本取扱説明書「リセット方法」②を参照し、USB 接続ケーブルが正しく接続されているかご確認してください。

USB 接続ケーブルを正しく接続した状態で、他のインクタンクでもリセットができない場合は、弊社サポートセンターにお問い合わせください。

Q4. リセット後プリンターに取り付けいたら、エラーメッセージ「インクがなくなった可能性があります (サポート番号 U041)」が表示される。

A4. インクタンクの IC チップリセットが正しくされていない可能性があります。もう一度 IC チップのリセットを行ってください。

Q5. プリンターやパソコン上でのインク残量表示はあるのに印刷できない。

A5. プリンターやパソコンに表示されるインクの残量表示と、インクカートリッジ内の実際のインク量は一致しません。インクの残量表示が十分であったとしても、インクカートリッジ内のインク量が十分でない (30%以下) 場合は、取扱説明書の「インク補充方法」を参考に、インクの補充をしてください。

Q6. エラーメッセージ「インク吸収体が満杯に近づいています (サポート番号 1700、1701)」が表示される。

A6. このエラーメッセージは、カートリッジやリセッターの不具合によるものではありません。プリンターの累計印刷枚数が多くなりインク吸収体の吸収量が限界に達すると、プリンター内部のインク漏れを防ぐためにこのエラーメッセージが表示されます。

このエラーの段階では継続印刷可能ですが、間もなく「インク吸収体が満杯になりました」のエラーメッセージに変わり、印刷が行えなくなります。

その場合は、インク吸収体の交換が必要になりますので、プリンターの取扱説明書に従ってインク吸収体の交換をメーカーにご依頼ください。

Q7. インクの残量表示が少なくなりました。すぐにインク補充が必要ですか？

A7. インクカートリッジに十分なインクが入っていればインク補充の必要はありません。残量表示が無くなるまで使用したら、IC チップリセッターの取扱説明書「インク残量表示のリセット方法」に従って残量表示のリセットを行ってください。

Q8. インク補充とリセット作業はどちらを先に行ったらいいでしょうか？

A8. 基本的にはどちらが先でも問題ありません。ただし、インクをたっぷり補充した後のリセット作業でカートリッジを傾けることでインクが漏れたりこぼれたりしやすくなりますので、どちらかといえば、リセット作業を先に行うことをお勧めいたします。

互換インクの専門店「ベルカラー」カスタマーサポート



✉ メール : support@bellcollar.com
☎ 電話番号 : 050-6867-9189
🕒 営業時間 : 10:00~17:00
(土日、祝祭日を除く)

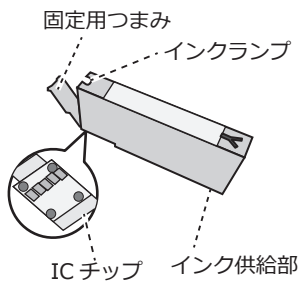
※お電話やメールなどいただく場合は
必ず注文番号・注文時のお名前をお伝えください。
※当社営業時間外はメールでの対応となります。

<キヤノン BCI-350/351 シリーズ IC チップリセッター + インクセット> IC チップリセッター リセット方法

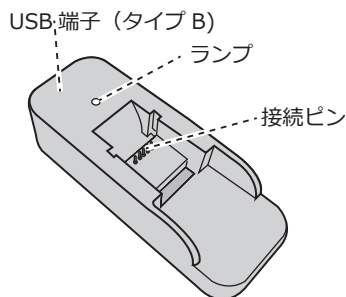
リセット方法

各部名称

●純正インクタンク

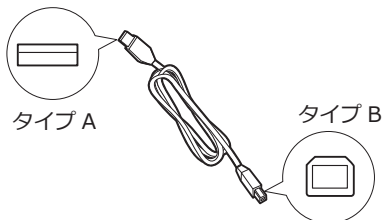


●IC チップリセッター



準備するもの

●USB ケーブル (タイプ A-タイプ B)



1 インクタンクを取り外す

インクがなくなり残量表示がゼロになったインクタンクをプリンターから外します。

⚠ 注意

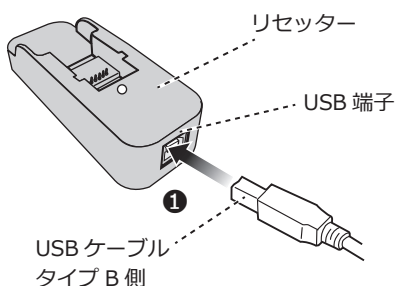
- IC チップをリセットするときは、インクタンク内にインクが残っていない状態で作業してください。インクが残っていると、インク供給部からインクが漏れることがあります。

2 USB ケーブルを接続する

※リセッターは USB 端子より電源を供給しています。

- ① リセッターの USB 端子に USB ケーブルのタイプ B 側を接続します。
- ② USB ケーブルのタイプ A 側を、パソコンやプリンターの USB 端子に接続します。

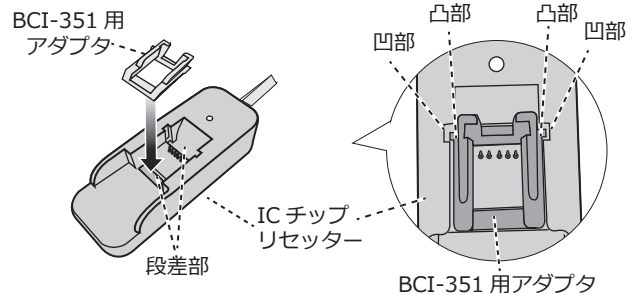
正しく接続されて電源が供給されると、リセッターのランプが赤く点滅します。



3 BCI-351 用のアダプタを使用する

※BCI-351 シリーズのインクタンクをリセットする場合、BCI-351 用アダプタを使用します。BCI-350 をリセットする場合はこの手順を行いません。

下図のように、IC チップリセッターの段差部に BCI-351 用アダプタをはめ込みます。この時、アダプタの左右の凸部とリセッターの凹部がピッタリ噛み合います。

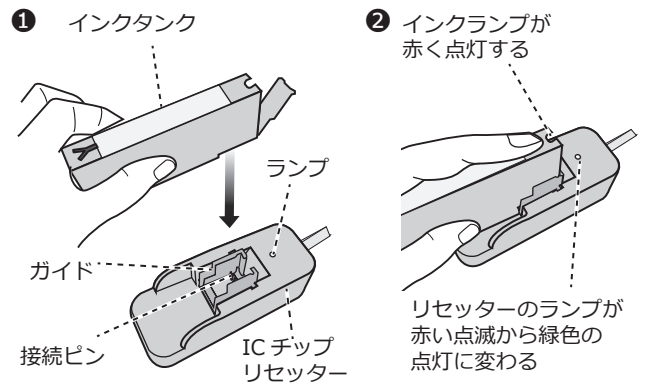


4 IC チップをリセットする

- ① インクタンクをガイド (IC チップリセッターまたは BCI-351 用アダプタ) に合わせ、IC チップを接続ピンに押し付けます。(図は BCI-351 シリーズの場合)

※この時、接続ピンは 1mm ほど下に押し込まれます。

- ② リセッターのランプが緑色の点灯に変わり、かつ、インクタンクのインクランプが赤く点灯するまで 2~3 秒ほど保持します。これでリセットは完了です。



⚠ 注意

- 5 秒以上接触してもリセッターが緑色に点灯しない、または、インクランプが赤く点灯しない時は、インクタンクをリセッターから外し、再度①~②の手順を行ってください。
- 「何度かリセット操作を繰り返しても点灯しない場合は、Q&A を改めてご確認ください、それでも問題が解消されない場合は弊社サポートセンターまでご連絡ください。」

5 プリンターに取り付け

※IC チップをリセットした後で、詰め替えインクを補充します。プリンターの取扱説明書に従ってインクタンクを取り付けます。

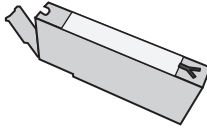
<キヤノン BCI-350/351 シリーズ IC チップリセッター + インクセット> IC チップリセッター インク補充方法

準備するもの

●インクボトル



●使用済み純正カートリッジ (インクタンク)



●付属の手袋



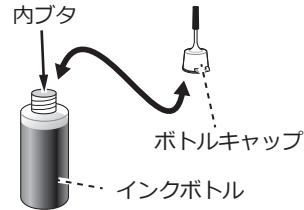
その他、ご家庭でご用意いただくもの

- 新聞紙
- ティッシュペーパー
- カッターナイフ

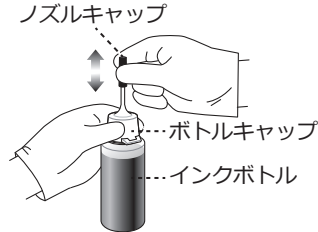
1 インクボトルを準備する

※これ以降の作業は手袋を着用して、新聞紙の上で行ってください。インクが手に付くと落ちにくいのでご注意ください。

- ① ボトルキャップを外し、インクボトルの内ブタにカッターなどで穴を開けます。ボトルキャップを元に戻します。



- ② インクボトルのノズルキャップの取り外しは、ボトルキャップの根元を押えながら、垂直方向に動かしてください。



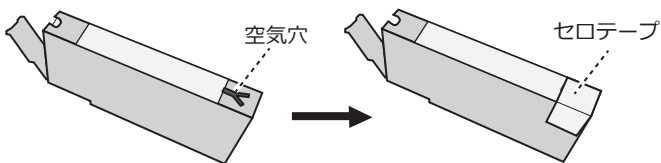
⚠ 注意

- インクボトル部分を押えないでください。インクが飛び出すことがあります。ノズルキャップを閉める際は、ノズルの先端から 1cm ほど差し込んでください。



2 空気穴をセロテープで塞ぐ

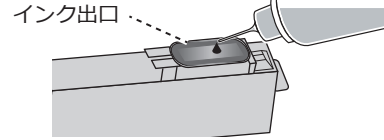
カートリッジの空気穴からインクが漏れる場合があるため、セロテープで空気穴をしっかりと塞ぎます。



3 インクを補充する

純正カートリッジのインク出口を上に向け、インクを目薬のように垂らし、補充します。

1 回のインク補充量は 5ml ~ 6ml です。ボトルのメモリを目安に補充してください。

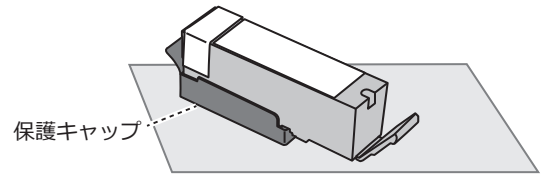


⚠ 注意

- インクを入れ過ぎるとにじむ原因になります。また、インクが少ないと、インクがない状態での印刷（空刷り）になりますのでご注意ください。
- ブラック、シアンインクはボトルの目盛りが見えにくいので、重さをはかる方法もあります。補充後のカートリッジの最適な重さは約 20g です。
- 大容量 (L) タイプのカートリッジも同量入れてください。

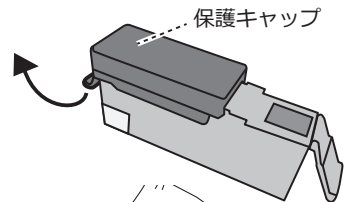
4 保護キャップをつけてしばらくなじませる

カートリッジに保護キャップをしっかり装着し、保護キャップを下にして置き、20 ~ 30 分ほどインクをなじませます。

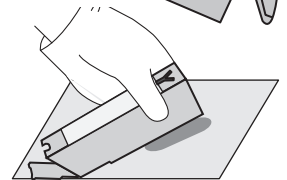


5 余分なインクを切る

保護キャップを上向きにもってゆっくりとはずします。



その後、空気穴のセロテープをはがし、空気穴の周辺のインクをティッシュ等できれいに拭き取ってからインク切りを行います。



インク出口を下に向け、インク出口から少し上のカートリッジの腹をつまんで、余分なインクをインク出口から絞り出します。インク出口を下に向けたまま 2、3 分放置します。インクが垂れないことを確認し、プリンタに取り付けます。

⚠ 注意

インクを入れすぎた状態でプリンタに取り付けると、プリンタ内にインクが漏れ、にじみやトラブルの原因となりますので、必ずインク切りを行なってください。